

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 2 年 7 月 5 日現在

機関番号：34311

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2016～2019

課題番号：16K04235

研究課題名(和文)大阪「博愛社」創立125年の総合的研究

研究課題名(英文) Comprehensive research for 125 years since the establishment of Hakuaisha in Osaka

研究代表者

倉持 史朗 (Kuramochi, Fumitoki)

同志社女子大学・現代社会学部・准教授

研究者番号：70411056

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,500,000円

研究成果の概要(和文)：日本に現存する社会福祉施設として最も長い伝統を持つ施設の一つ、博愛社(大阪市)に所蔵されている史料を整理し保存する作業に取り組んでいる。現在、1955年以前の史料を中心に約3,500点を保存箱等に収納し保管している。研究メンバーで作成した『博愛社所蔵史料仮目録』(2010年)に基づき特に貴重なものについては一点ずつカメラ撮影しデジタルデータ化している。さらには博愛社が長期にわたって発行した機関誌の記事目録の作成も進んだ。施設活動のみならず博愛社と大阪・国内の社会事業、キリスト教や皇室とのつながり等をより詳細に研究する体制が着実に整ってきている。

研究成果の学術的意義や社会的意義

博愛社所蔵の貴重資料をデジタルデータ化し研究メンバーが本分野に関係する研究者等が遠隔地からでも資料活用や照会できる体制を整備した。今期は特に関係者の日誌・書簡の翻刻や日本の社会福祉史における博愛社の役割や存在の意義などに関する研究が進んだ。また本研究は長期的なビジョンを持って推進せねばならず、積極的に若手研究者・福祉実践者の研究会・資料保存作業などの参加・見学を受入れ研究手法の実践的訓練の機会としても活用した。整理作業の終えた貴重史料は、博愛社に設置されている史料閲覧室や大阪歴史博物館の特別展などに提供し、一般市民や歴史学、社会福祉学研究者等へ積極的に公開した。

研究成果の概要(英文)：One of the longest existing social welfare facilities in Japan, we are working on organizing and preserving historical materials stored in Hakuaisha (Osaka City). Currently, about 3,500 items, mainly historical materials before 1955, are stored in storage boxes. Based on the "Hakuaisha Preliminary Catalog of Historical Materials" (2010) created by the research members, we photographed one point at a time for particularly valuable items and converted them into digital data. Furthermore, the cataloging of the magazines published by Hakuaisha over a long period of time has been advanced. A system has been steadily set up to study in more detail not only facility activities but also the connection between Hakuaisha and Osaka/domestic social projects, Christianity, and the imperial family.

研究分野：社会福祉学

キーワード：博愛社 小橋勝之助 小橋実之助 林歌子 博愛雑誌 博愛(社)月報 大阪社会事業

様式 C-19、F-19-1、Z-19（共通）

## 1. 研究開始当初の背景

近代化・資本主義化の過程で深刻な社会問題が発生し多くの慈善・社会事業団体が興ったが、行政の関与・支援は不十分であった。加えて太平洋戦争によって都市部を中心に甚大な戦災に見舞われたわが国において、明治期からの社会福祉状況に関する史料を有する施設は僅かであり、その施設が所有する史料の調査・保存作業が行われた研究事例は家庭学校・福田会育児院・岡山孤児院(現・石井記念友愛社)などわずかに数例である。本研究の対象となる博愛社は前記の通り日本有数の歴史と活動実績を有する施設ではあるが、阪神大震災の被害も加わって100年以上におよぶ活動記録や保有史料を把握できておらず保存状態は劣悪となる一方であった。そのような状況において2001年1月より室田・倉持・原が史料調査に着手したのが本研究の発端となり、以来、社会福祉学、歴史学の研究者をはじめ施設職員などで研究チームを組織して研究活動を継続している。

博愛社に関する研究を概観すると、それまで一次史料を用いた本格的な研究は創設者・小橋勝之助に焦点をあてた西村みはる『社会福祉実践思想史研究』(ドメス出版・1994年)のみであった。そこで史料調査・保存作業を進めつつ研究実績を重ね「大阪『博愛社』の総合的研究-大都市における児童保護の歴史的検証」(基盤研究C:2007-09年度)、「大阪『博愛社』の歴史的研究」(同左:2010-12年度)、「大阪『博愛社』の研究」(同左:2013-15年度)と科学研究費助成を受け着実な研究を進めてきた。

## 2. 研究の目的

博愛社は、創設以来約130年にわたる同社事業や関連人物、戦前日本の社会事業の中心地ともいべき大阪地域に関する一万点以上の史料を所蔵する。これらはまさに日本福祉史の実態解明のための貴重な史料群である。本研究ではこれらの貴重史料の整理・保存作業を進め、同時に史料目録・翻刻等を公刊し、それらを用いて実証的な歴史研究に取り組む。

## 3. 研究の方法

博愛社に関する研究課題は広範囲におよぶが、本研究期間においては(1)継続的に史料整理作業などを進め、(2)下記に記した4つの研究課題に取り組む。

### (1)史料の整理・保存・翻刻作業

複数の重要文書が綴じられた簿冊の再分類と目録作成作業、書簡・ハガキ類の整理、保存、目録作成、翻刻作業、小橋勝之助、小橋実之助、小橋カツエなど中心的人物の日誌翻刻作業、1955年以降の博愛社関連史料の整理、保存作業

### (2)研究課題

育児・教育事業 博愛社の中心的事業である育児・教育事業の実態解明を進める。具体的には第1に、ケース記録を用いた児童処遇の内実を明らかにする引き続き研究を行う。第2に、明治後期から始まった「里預け」(現在の里親委託に相当)事業の拡大と縮小、大正後期からの乳児院としての施設機能の拡充の経緯について、第3に入所児に対する学校・職業教育の展開とその教育内容等についても明らかにする。さらに第4に、戦時体制下と戦後以降の博愛社をめぐる時代情勢と同社の育児事業の実態にも迫る。

女性保護・母子保護事業 大正期以降の博愛社は母子保護事業や母子保健に関する相談事業にも取り組んでいく。また、先述のように林歌子らは矯風会の活動にも参画し、大阪婦人ホームを設立して女性保護事業にも取り組むようになる。これらの事業の実態と博愛社本体の事業との関連を解明していく。

国内外の関連する人物や団体 博愛社の創設と運営にあたっては多くの人物や団体が参画・協力している。本研究においては第1に、皇室と博愛社の関係、第2にキリスト教、とりわけ聖公会(および関係団体)やCCF(Christian Children's Fund)などとの連携・協力について解明していく。特に、戦後の混乱期における博愛社の児童保護事業(課題a)を明らかにするにあたっては海外の諸団体からの支援の実態を明らかにすることは重要である。

大阪地域の慈善・社会(福祉)事業との関連 先述のように、博愛社は二代社長・小橋実之助によって大阪社会事業連盟など民間事業の組織化においても中心的な役割を担っていた。そこで、大阪地域の慈善・社会事業との関連について、特に同地域の社会事業の発展に博愛社が果たした貢献について解明していく。

## 4. 研究成果

### (1)史料の調査・整理・保存とデジタルデータ化作業

博愛社に所蔵されている史料を整理し恒久的に保存する作業に取り組み、1955年以前の

史料を中心に約 3,500 点を保存箱等に収納し、仮史料目録（『博愛社所蔵史料仮目録』2010 年・167 頁）に基づき作成時期が古く特に貴重なものについては一点ずつカメラ撮影しデジタルデータ化している。約 6 万コマを撮影し 600 点弱の貴重資料については PC など研究メンバーが活用できる体制を整備している（2020 年 2 月月現在）。さらには博愛社が長期にわたって発行した機関誌の記事目録の作成も進み、施設活動のみならず博愛社と大阪・国内の社会事業、キリスト教や皇室とのつながり等をより詳細に研究する体制が着実に整ってきている。

#### (2) 日記、書簡の翻刻

博愛社に所蔵されていた小橋勝之助（創設者）など経営者、職員等の日記や書簡等について翻刻作業を行い、創設期の事業の実態解明が着実に進んだ。

#### (3) その他の研究成果

明治期から戦前・戦中期の日本社会ならびに慈善事業・社会事業界における大阪社会事業の位置づけや博愛社が果たした役割についての解明が進んだ。これらの取り組みの成果は 2018 年の大阪歴史博物館の特別展（「100 周年 大阪の米騒動と方面委員の誕生」）にも多くの貴重史料・情報の提供を行うなど、これまでの史料調査・研究活動をさらなる社会貢献へと広げている状況である。

ただし、施設活動のみならず大阪社会事業などに関連する膨大かつ貴重な史料群の取扱いにも慎重を期す。そのため調査から保存・整理、目録（データベース）作成を通して史料を有効活用する仕組みをつくることにより、学界や社会一般に成果を還元していくという点については、未だ十分な貢献を果たしたとは言えない。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計22件（うち査読付論文 6件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 2件）

1. 著者名 今井小の実	4. 巻 12(1)
2. 論文標題 愛国婦人会と社会事業—大正後期の山口支部の活動に焦点をあてて	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Human Weifare	6. 最初と最後の頁 71-86
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 倉持史朗	4. 巻 102(7)
2. 論文標題 『月刊福祉』のはじまり 『慈善』を読み解く—安達憲忠「養育院と発疹チフス」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 月刊福祉	6. 最初と最後の頁 58-61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 倉持史朗	4. 巻 102(10)
2. 論文標題 『月刊福祉』のはじまり 『慈善』を読み解く 田中太郎「泰西(たいせい)社会事業視察一斑」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 月刊福祉	6. 最初と最後の頁 58-61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 倉持史朗	4. 巻 103(1)
2. 論文標題 『月刊福祉』のはじまり 『慈善』を読み解く 穂積重遠「独逸(ドイツ)監獄視察一斑」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 月刊福祉	6. 最初と最後の頁 58-61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 今井小の実	4. 巻 3
2. 論文標題 保母大嶽節子の死 - 大正14年5月~6月の日誌を通して	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 大阪「博愛社」創立125年の総合的研究(研究成果報告集)	6. 最初と最後の頁 3-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高岡裕之	4. 巻 3
2. 論文標題 1920年代における博愛社の経済的基盤に関する覚書	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 大阪「博愛社」創立125年の総合的研究(研究成果報告集)	6. 最初と最後の頁 15-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 室田保夫・大月英雄	4. 巻 3
2. 論文標題 「小橋勝之助日誌」(七) - 1888年9月27日~12月31日	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 大阪「博愛社」創立125年の総合的研究(研究成果報告集)	6. 最初と最後の頁 21-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 蜂谷俊隆	4. 巻 3
2. 論文標題 『博愛乃園』に掲載された広告目録 - 第134号~第273号 [1913.01.20-1939.08.10]	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 大阪「博愛社」創立125年の総合的研究(研究成果報告集)	6. 最初と最後の頁 41-66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 室田保夫	4. 巻 3
2. 論文標題 博愛社機関誌に表れた皇室関係記事について	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 大阪「博愛社」創立125年の総合的研究(研究成果報告集)	6. 最初と最後の頁 67-76
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高市勢津子	4. 巻 3
2. 論文標題 「小橋カツエ日記」(二の一) - 昭和十五年一月一日~六月三十日	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 大阪「博愛社」創立125年の総合的研究(研究成果報告集)	6. 最初と最後の頁 一-三〇
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 室田保夫	4. 巻 54
2. 論文標題 近代日本と留岡幸助: 『文明と福祉』をめぐっての試論	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『社会事業史研究』	6. 最初と最後の頁 59-77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 今井小の実	4. 巻 48-3
2. 論文標題 貝塚市における高度経済成長期の繊維工業労働者 - 『貝塚市の70年』 編纂の調査を通して	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『社会科学』	6. 最初と最後の頁 1-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 今井小の実	4. 巻 1-10
2. 論文標題 戦前日本の女性運動の系譜	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『翰苑』	6. 最初と最後の頁 7-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 倉持史朗	4. 巻 21
2. 論文標題 天理教養徳院(天理養徳院)の歴史的展開とその整理 - 天理教公認から戦前期まで [1888(明治21)年4月 - 1935(昭和10)年4月]	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『天理大学 社会福祉学研究室紀要』	6. 最初と最後の頁 29-39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 倉持史朗	4. 巻 印刷中
2. 論文標題 『天理教養徳院(天理養徳院)』に関する研究動向と展望 創設と初期の活動をめぐって	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『人権問題研究室紀要』	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大月英雄	4. 巻 266
2. 論文標題 明治初期の備荒貯蓄と民間社会-;滋賀県の事例を中心に	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ヒストリア	6. 最初と最後の頁 17、23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大月英雄	4. 巻 1
2. 論文標題 「博愛慈善の事業」の成立-; 『小橋日誌』を読む	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 大阪「博愛社」創立125年の総合的研究	6. 最初と最後の頁 17、23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 今井小の実	4. 巻 1
2. 論文標題 皇室とキリスト者小橋実之助 - 大正14年3月~5月の日誌を通して	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 大阪「博愛社」創立125年の総合的研究	6. 最初と最後の頁 5、15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大月英雄	4. 巻 1
2. 論文標題 地方三新法期の郡域結社 - 伊香西浅井郡相救社の罹災救助事業	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 近代日本における自立的地域文化創生事業の研究	6. 最初と最後の頁 27、35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 元村智明	4. 巻 10
2. 論文標題 地域社会と社会福祉の歴史研究 地域性と人物から考える	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 東京社会福祉史	6. 最初と最後の頁 11~15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 今井小の実	4. 巻 57(3)
2. 論文標題 2015年度学界回顧と展望 歴史部門	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 社会福祉学	6. 最初と最後の頁 103～116
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 今井小の実	4. 巻 51
2. 論文標題 山口県社会事業と虎ノ門事件 - 「教化」をめぐる社会教育とのせめぎあいのなかで	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 社会事業史研究	6. 最初と最後の頁 69～84
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計7件 (うち招待講演 3件 / うち国際学会 0件)

1. 発表者名 高岡裕之
2. 発表標題 近現代日本における「人口問題の時代」
3. 学会等名 新潟大学人文学部シンポジウム「総力戦と社会変容－歴史研究とメディア研究の再検討」(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高岡裕之
2. 発表標題 「戦後社会運動」の論じ方について－『戦後社会運動史論』第1認の論考を中心に」
3. 学会等名 大阪歴史科学協議会11月例会「社会運動史研究の現状と課題を考える」(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 今井小の実
2. 発表標題 愛国婦人会と社会事業—大正後期の山口支部をフィルターに
3. 学会等名 社会事業史学会第47回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 今井小の実
2. 発表標題 愛国婦人会と室事救護法—当時の愛富婦人会本部の動向と山口支部の活動に焦点をあてて
3. 学会等名 日本社会福祉学会第67回秋季大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高岡裕之
2. 発表標題 「1930-40年代の農村社会と人口問題」
3. 学会等名 社会事業史学会第45回大会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 元村智明
2. 発表標題 博愛社の位置づけから観る慈善事業および社会事業に関する予備的考察
3. 学会等名 北信越社会福祉史学会第17回大会
4. 発表年 2017年～2018年

1. 発表者名 大月英雄
2. 発表標題 「公費」の成立と郡域結社 - ;滋賀県伊香西浅井郡相救社を事例として
3. 学会等名 大阪歴史科学協議会帝国主義研究部会
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計11件

1. 著者名 比較家族史学会、小島 宏、廣嶋 清志(高岡裕之分担執筆)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 日本経済評論社	5. 総ページ数 328
3. 書名 人口政策の比較史	

1. 著者名 室田保夫	4. 発行年 2020年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 304
3. 書名 山室軍平	

1. 著者名 室田保夫	4. 発行年 2018年
2. 出版社 晃洋書房	5. 総ページ数 218
3. 書名 新編 同志社の思想家たち 上	

1. 著者名 室田保夫	4. 発行年 2019年
2. 出版社 晃洋書房	5. 総ページ数 244
3. 書名 新編 同志社の思想家たち 下	

1. 著者名 倉持史朗, 室田保夫, 蜂谷俊隆	4. 発行年 2018年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 232
3. 書名 社会福祉	

1. 著者名 倉持史朗	4. 発行年 2019年
2. 出版社 学文社	5. 総ページ数 436
3. 書名 現代社会福祉用語の基礎知識-第13版	

1. 著者名 高岡裕之、他	4. 発行年 2017年
2. 出版社 日本経済評論社	5. 総ページ数 260
3. 書名 触発する歴史学	

1. 著者名 高岡裕之、他	4. 発行年 2017年
2. 出版社 創土社	5. 総ページ数 352
3. 書名 戦時秩序に巣喰う「声」 日中戦争・国共内戦・朝鮮戦争と中国社会	

1. 著者名 今井小の実、他	4. 発行年 2018年
2. 出版社 放送大学教育振興会	5. 総ページ数 291
3. 書名 生活変動と社会福祉 - 福祉研究の道標	

1. 著者名 今井小の実, 室田保夫, 蜂谷俊隆, 倉持史朗, 片岡優子, 嶺山敦子	4. 発行年 2017年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 312
3. 書名 福祉についての歴史 歴史についての福祉	

1. 著者名 倉持史朗, 元村智明	4. 発行年 2017年
2. 出版社 法律文化社	5. 総ページ数 212
3. 書名 社会福祉の歴史: 地域と世界から読み解く	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

## 6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	今井 小の実 (Imai Konomi) (20331770)	関西学院大学・人間福祉学部・教授  (34504)	
研究分担者	蜂谷 俊隆 (Hachiya Toshitaka) (50351705)	美作大学・生活科学部・准教授  (35306)	
研究分担者	元村 智明 (Motomura Tomoaki) (60340022)	金城大学・社会福祉学部・准教授  (33306)	
研究分担者	室田 保夫 (Murota Yasuo) (90131614)	京都ノートルダム女子大学・現代人間学部・教授  (34312)	
研究分担者	高岡 裕之 (Takaoka Hiroyuki) (90305491)	関西学院大学・文学部・教授  (34504)	
研究協力者	陳 礼美 (Chen Li-mei) (40510160)	横浜市立大学・国際教養学部・教授  (22701)	
研究協力者	高市 勢津子 (Tkaichi Sestuko)	大阪キリスト教短期大学・幼児教育学科・教授	
研究協力者	大月 英雄 (Otsuki Hideo)	滋賀県立公文書館・歴史公文書専門職員	

## 6. 研究組織（つづき）

	氏名 (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	原 佳央理 (Hara Kaori)		
研究協力者	中西 真 (Nakanishi Shin)	帝京科学大学・医療科学部・助教	
研究協力者	佐野 信三 (Sano Shinzo)	大阪婦人ホーム・理事長	
研究協力者	長野 泰信 (Nagano Yasunobu)	博愛社・理事長	
研究協力者	大野 定利 (Ono Sadatoshi)	博愛社・元施設長	
研究協力者	浅井 靖久 (Asai Yasuhisa)	博愛社・職員	